千里山会第１４回総会の概況

過去三回続いた「雨の日の千里山会」でしたが，今回は雲ひとつない快晴に恵まれ，二〇一〇年一〇月二三日（土），御茶ノ水の東京ガーデンパレスで開かれました。

ここ数年出席者が減り続け，一昨年は６４名でしたが，今回は仕事の都合で総会のみでお帰りになりました方を含め７４名（初参加６名）で開催出来ました。ひとえに常任幹事の方々をはじめ，会員の皆様のご協力の賜物と感謝しております。この６名の初参加の方々の内，３名は千三小学校卒で寺澤新世話人代表の書かれた日経新聞の記事から千里山会の存在を知り，出席していただいた方もおられます。

今年は特に本年三月六日に開かれた「拡大常任幹事会」以来，若手幹事が総会・懇親会の進め方について，パソコンを使ったｓｋｙｐｅ　ｏｕｔ（固定電話や携帯電話に連絡できる。９人での会議もＯＫ。自宅に居ながらの会議もＯＫ）や，通常のメールで頻繁に交信を繰り返し，さらに二回ほど途中の日曜日に都内で集まり，いかに皆様に楽しく，また次回も参加しようと思っていただけるような会にできるかと検討が重ねられました。

その若手幹事とは一井邦敏（３２），古川道子（３２），石井庸三（３５），増田泰邦（３９）の皆様です。（カッコ内の数字は回生です。）

今回は五年ごとに行っております追悼式を行う年であり，二００五年の追悼式以降に他界された会員の方々が予定されておりました。そのため開場十一時半にも関わらず，九時頃よりそれらの準備が行われておりました。

そのような中，一昨年は体調を崩され欠席された飯島泰蔵様（９）が，杖は使われているものの，お元気な姿でお見えになりました。確か九月で８５歳（総会開催時）におなりになり，この日の二週間ほど前に副学長をされていた北陸先端科学技術大学院大学の創立満二十周年記念式典で一時間に及ぶ特別講演をされたと聞いております。

総会次第

開会宣言　司会　事務局長　奥田陽一
追悼式　司式　十四回生　柿崎眞吾
世話人代表交代式　旧世話人代表　大森　信　同右
新世話人代表　寺澤美代子
会計・業務報告　事務局長　奥田陽一
特別講演　柿崎眞吾
「随感　千里山会四十年に想う」
遠来者・初参加者紹介　事務局長　奥田陽一
千三小学校校歌紹介　三十一回生　杉山秀子

追悼式

司式　柿崎眞吾（14）
樂奏　アルトサックス　田部邦彦（31）
樂奏　ピアノ　杉山秀子（31）

今回対象者十四人の方々と同数の白い菊がそれぞれ花瓶に入れられ，演壇に飾られていました。三十一回生の田部邦彦様のアルトサックスと同じく三十一回生，杉山秀子様のピアノによる「アメージング・グレース」「埴生の宿」が流れる中，十四回生柿崎眞吾様が黙祷の後，物故順に追悼者の氏名及び各人のエピソードを簡潔に披露頂きました。この内容は次頁より3頁にわたり紹介させていただきます。

このサックスを聞くと十年前の第四回総会時の追悼式で6回生井上敬三様による「大きな古時計」や「ふるさと」が思い出されます。

この間の物故者は次の通りです。

柳父幸子様（6）・猪川道生様（12）・園田啓子様（29）・亀（宮上）美智子様（13）・三塚則子様（8）・東維明様（10）・長谷（大倉）道子様（13）・誉田秀之様（17）・小松暢子様（18）・日向宏太郎様（21）・鈴木貞一様（17）・黒川高秀様（21）・奥住（国安）清子様（4）・當眞健夫様（24）

追悼式

司式　十四回生　柿崎眞吾

只今から追悼式を行います。追悼式は慰霊祭と趣を異にしまして、発会から今日までの先に彼岸へ旅立たれた会員を、われわれ此岸の者が彼岸の方々をお招きして一堂に会し、昔を思い出しながら一緒に賑やかに楽しもうという趣旨のものです。私共十四回生は今年続々八十歳を迎えておりまして、私は長いことCテーブルだったんですが、その後のBテーブルの期間は短く、このところAテーブル入りしました。テーブルが舟に思えてなかなかイイ気分です(笑)。広辞苑には「心霊」とは身体を離れて存在する「精神的実体」とありまして実体と言うところが良いですね。今日は五年に一回は彼岸からいらした方々(後記)が、昔出席された時と同様我々とご一緒にこの会場に居られ楽しく参加されていると思って、皆さん大歓迎してさしあげてください。

今回2005年から2010年まで14名の彼岸入りされた方々に、それぞれ一輪の白菊になって出席していただきました。これから懐かしい方々のお名前を親しく読み上げお話させていただきます。(括弧旧姓)

6 **柳父**(藤井)**幸子様**は千二小から初めて東京音楽学校(現芸大)ピアノ科に進まれた俊才で、結婚されて廣島の爆心地近くで被爆された時の名文を会誌3号に残しておられます。大阪音大名誉教授で生涯を終われましたが、大阪から度々出席してくださいました。一度演奏をとお願いしておりましたら、8年前自ら編曲された美しい「埴生の宿変奏曲」(原曲ビショップ)を持参されこの部屋で弾いてくださいました。今日は原曲を31杉山秀子さんに弾いていただきながら会を進めてまいりたいと思います。

12 **猪川道生様**は昭和46年の旗揚げメンバーで、その後浜松・大阪へと転勤されてもよく本会を支えてくださいました。千里山会に因んでちさと会をつくられた有力メンバーで、今日千里山からご出席の現ちさと会代表15山本平八郎さんの前任者でもあられました。

18 **日向暢子様**は長い母上の介護で大阪を往復されること多く、終えられてからは積極的な総会出席と会誌へのご協力をいただきました。戦中物資不足の折は千

里山では唯一山羊を飼い乳を搾って蛋白補給をされていた話（7号）。父上方斎様を語る9号へのご寄稿が残っております。スポーツの時間がとれるようになり、真夏熱中に倒れて帰らぬ人となられたのは残念でした。

21 **黒川高秀様**は前号巻頭文にありますので、私との出会いだけ申しあげます。総会での特別講演をお願いし、これが総会の定番になった最初のお方です。その後世話人代表を北野高校の先輩17高橋一三氏を伴い昭和病院院長室を訪ねてお願いし、熟慮の末に快諾いただいてホッとした思い出、強い会への愛着と情熱をお持ちで、幹事会で一回、総会で一回まことに力の入ったスピーチは印象に残るもので、惜しいの一語です。

29 **園田（中野）啓子様**　中野様とは会の草創期によく話し合いました。旧花壇町現円山町の方で、助産婦としての仕事にたいへん情熱を持っておられ、会誌を作り始めたばかりの2号に早速寄稿いただきました。会を楽しく盛り上げるためには労を惜しまれない方で、同期の菅生玲子さんを総会でのシャンソン弾き語り演奏に引き出してくださったり、翻訳家の宇尾（上田）史子さんの入会を誘ってくだされ、これが後のハリー・ポッターの特別講演に繋がったこと等々、それに彼女の本格的大阪弁も忘れられません。

8 **三塚（五代）則子様**は伊豆の山荘から参加していただきました（大阪財界育ての親である五代友厚様のお孫さんで会誌2号に大宅壮一氏の千里山と題する文をご覧ください）。東京同窓会の時代でした。

17 **誉田秀之様**は遠州の一之宮である掛川の事任宮（ことのままぐう）の宮司さん、秋は七五三の多忙の時期なので残念がっておられましたが、その忙しい中を二度の出席がありました。

24 **當眞健夫様**は、演劇とお酒が大好きで、同期の人気者、素敵な明るい笑顔が印象的でした。

10 **東維明様**、13 **大倉道子様**、17 **鈴木貞一様**とはお話の機会がとれませんでしたが、楽しそうにご出席されていたご様子はよく記憶してます。

21 **日向宏太郎様**は、ご本人も会としても残念でした。姉上急逝のあと09年暮に入会されて、総会の前にこれまた本人が急逝されなんとも申しようもございません。

4 **奥住（國安）清子様**、13 **亀（宮上）美智子様**、最後になりますが、当初から老齢と病弱のため総会には一度もご出席が叶わず、会誌を楽しみに会を支えてくださったお二方にこの席から感謝申しあげます。

今回お呼びしました十四名のお方を既に２０００年、２００５年に白菊を捧げたお方と併せて、黙想しながらご冥福をお祈りしたいと思います。

それでは、黙祷！　（30秒）

奏楽を担当してくださった31杉山（石井）秀子様、同じく31田部邦彦様、ありがとうございました！

お蔭で司式を無事務めさせていただき滞りなく追悼式を終了できましたことに心から感謝申しあげます。

２０００年、２００５年の追悼式のお方々を謹んで掲載させていただきました。お憶えください。

２０００年　追悼式　　回生順（　）は旧姓　十六名

3 六角（朝比奈）明子様　9 小田（小池）恵美子様
9 疋田敬一郎様　10 平　一秀様　10 廣瀬浩美様
12 中井伸之様　12 福山博壽様　13 中山　哲様
13 保富康午様　13 森谷（荒川）治子様
14 佐々木（梶山）薫様　14 福山（大島）昭子様
14 三笠洋一様　17 美川英二様
18 糠沢（南部）敦子様　20 二田原（東）敦子様

２００５年　追悼式　　回生順（　）は旧姓　十四名

1 小川（木下）澄子様　6 井上敬三様　9 藤田　田様
9 福井喜三郎様　10 民野幹男様　11 藤井正俊様
14 松井良太郎様　17 鈴木（小田）千代子様
17 田中専一様　17 藤原昭二様　18 白鳥摂子様
18 沖（宇都宮）信子様　21 秋葉二郎様　21 堀田謹吾様

世話人代表交代式

二〇〇二年十一月に黒川世話人代表が交通事故にあわれ，以来，ずっとその代理を続けていただいていた大森様より，昨年（二〇〇九年）「そろそろ世話人代表を交代してもらいたい」との要望がありました。しかし，引き受け手に難航し，とりあえずもう一年の延長をお願いし今回に至った次第であります。

幸いにも先の三月六日の「拡大常任幹事会」で多くの方から推薦のあった寺澤美代子様が引き受けて下さることになり，大森様よりその旨を総会で出席者の皆様に報告していただき，出席者一同様の承認を得ることができました。

その折の大森旧世話人代表の「千里山会会員の皆様」と題する挨拶文を次に掲載いたします。

挨拶文の最後の写真は，長年の世話人代表を務めていただきました大森様への感謝の花束贈呈で，大森様と同期の土橋（小原）美智子様です。

千里山会会員の皆様

旧世話人代表　大森　信

いまさら云うまでもありませんが，私達の食生活の変化と共に，近くで取れた食べ物の消費がどんどん落ちています。食材の種類も減る一方です。とくに，デパチカ食や外食に食をゆだね，またダイエットに熱心な若い世代にその傾向は著しいと思います。彼らが親となって子育てをするようになって，この傾向は全体に浸透し，都市では全世代に共通の傾向にさえなりつつあります。田舎では里と里山の崩壊が進んでいます。過疎化が顕著になって，数百年かけて祖先が作り上げた里と里山が人手不足などのために放置され，食の生産の場所から人の住めない森へとその姿を変えつつあります。一方，大都市への通勤圏にあった千里山の「里」は，逆に，人口が集中して住宅がますます過密になり，大阪の市街地にほとんど飲み込まれてしまいました。子供時代をすごした千里山への思いは，近年の激しい生活環境の変化の中で，世代によって大きく違ってきているでしょう。千里山会は，千里山駅が千里山線の終点だった戦前戦後の数十年間の共通の思いでつながっている感じがありましたから，近頃の出席者の減少傾向に歯止めがかからなかったのは仕方がなかったのかもしれません。

第十四回千里山会総会の前に世話人会の方々が何度も話し合って，若手の会員が活動を見直し，新しい気持ちで千里山会を継続してゆこう，そして総会も従来とは違った趣向で進めてみようということになりました。

二〇一〇年一〇月二三日の第十四回総会で，懸案だった次期の世話人会代表を十八回生の寺澤美代子様にお願いすることを皆様にお諮りした結果，承認されました。長い間，あまりお役にも立たない代表を続けましたが，この間，柿崎様や奥田様をはじめ，世話人会の方々の支えとご協力で代表が務まりましたことを感謝します。会員の皆様，有難うございました。これからも，楽しい千里山会が維持されることを念じながら，快く世話人代表をお引き受けいただいた寺澤様にバトンタッチいたします。

会計・業務報告　　事務局長　奥田　陽一

千里山会２０１０年総会・懇親会出席者名簿，経過報告，２０１０年度会計報告を１７～１９頁に掲載いたします。

特別講演　「随感　千里山会四十年に想う」　十四回生　柿崎　眞吾

一九七〇年十月の「千二校同窓生の集い」より満四十年。今日の千里山会までの流れを柿崎さんに語っていただきました。２０～２２頁をご覧ください。

遠来者紹介　　事務局長　奥田　陽一

石川浩様（１３）：アメリカ・カリフォルニア，山本平八郎様（１５）：千里山，波田凱夫様（１７）：新千里，中村（北浦）陽子様（１７）：吹田市山田西，吉川宏子様（１７）：吹田市山手町，和田忠博様（２０）：神戸，井出（藤川）敏様（２０）：大阪狭山市，樺山（三笠）翠様（２０）：千里山，浅野倉平様（２０）：千里山，平工（浅野）泰子様（２６）：岐阜市，瀧（２６）梢様：千里山，林裕三様（２７）：伊勢市，増田泰邦様（３９）：宇都宮市

初参加者紹介　　事務局長　奥田陽一

波田凱夫様（１７），平工（浅野）泰子様（２６），井筒征彦様（２７），清水恒治様（４３：千３１回生），森玉貴様（４３：千３１回生），肥塚隆裕様（４４：千３２回生）

千三小学校校歌紹介

三十一回生　杉山（石井）秀子様の演奏で千三小学校の校歌が紹介され，総会は終了しました。

千里山会２０１０年総会・懇親会　出席者名簿

2010.10.23　　お茶の水ガーデンパレス　平安の間

（回生別・五十音順・*印初参加）

９回生　飯島泰蔵、
１１回生　伏見千瑞子、三谷（平井）万里子
１２回生　石川忠志
１３回生　石川　治
１４回生　柿崎眞吾、三分一克美、岡本（山崎）郁子
１５回生　赤羽隆夫、山本平八郎
１６回生　清水健至
１７回生　波田凱夫*、石田（神谷）明子、中村（北浦）陽子、吉川宏子
１８回生　小木曽（名田）文子、栗木（池田）明子、滝沢（村中）万里子、寺澤（劉）美代子
２０回生　淺野倉平、久保利也、長谷川宏有、和田忠博、井出（藤川）　敏、樺山（三笠）　翠、秦（保富）　迪子、米崎（三輪）ふゆ子
２１回生　大森　信、大久保千尋、土橋（小原）美智子
２２回生　尾川原奈美江
２３回生　平川種徳、佐怒賀（片山）弘子、黒澤（保富）琉美子、
２４回生　市原四郎、奥田陽一、河井康郎、齋藤（南條）万貴子
２５回生　牧村（山崎）佳那子
２６回生　村岡　進、奥田（渡部）英子、川原（河井）一恵、児玉（服部）絢子、澤田（大貫）操子、下野（中瀬）龍子、関（村岡）貴美子、瀧（大森）　梢、平工（淺野）泰子*
２７回生　井筒征彦*、高見信雄、萩原直大、林　裕三、城戸（吉田）三千代、戸島（大石）松子、宮林（村田）芳子
２９回生　岩瀬琢郎、宇尾（上田）史子
３０回生　今尾（副島）厚子、北口（中瀬）晃子、保田（池原）洋美
３１回生　小野次郎、後藤健次郎、田部邦彦、杉山（石井）秀子
３２回生　一井邦敏、深川秀之、古川（藤本）道子
３３回生　佐々木成人
３５回生　石井庸三
３９回生　増田泰邦、澤田　純
４３回生（千三１回生）清水恒治*、森（堤）　玉貴*
４４回生　肥塚隆裕*

以上７４名

【２０１０年度千里山会収支表（前期比較）】

2011.03.31

収　入	０９年度実績		１０年度実績		差　額
前年度繰越		561,108		332,241	-228,867
年会費	１９８名	396,000	２０２名	404,000	8,000
内訳　０８年	２名	4,000	２名	4,000	0
０９年	１９６名	392,000	４名	8,000	-384,000
１０年		0	１９６名	392,000	392,000
振込手数料(会費振込分)		-15,400		-12,840	2,560
その他		675		2,370	1,695
利息		126		93	-33
小計		381,401		393,623	12,222
懇親会費 @8,000	６０名	480,000	７４名	592,000	112,000
寄付金	１９名	146,160	１４名	185,400	39,240
その他入金					
合計		1,568,669		1,503,264	-65,405
支　出					
通信費	84,470	126,595	34,000	136,762	10,167
振込手数料		105		420	315
文具・コピー費		28,072		23,042	-5,030
打合経費		13,920		21,456	7,536
慶弔費他		36,361		2,338	-34,023
会誌作成費	１２号	406,535	１３号	159,600	-246,935
会員名簿作成費					
小計		611,588		343,618	-267,970
会食費		624,840		613,494	-11,346
写真費					
合唱隊諸経費					
記念品費					
小計		624,840		613,494	-11,346
繰越		332,241		546,152	213,911
合計		1,568,669		1,503,264	-65,405

通信費欄の左側の数字は会誌の送料だけをを取り出しています。内56,000円は
ご寄付頂いた切手を切手購入として費用に計上、同額を寄付金として入金しており、
通信費が過大に計上されています（期末現在手元保管中）。

本日、千里山会の会計監査をした結果、処理は適正且つ正確で有ることを認めます。
２０１１年５月３１日　　監事　平田　坦

経過報告

10.07.29　会誌１３号ゲラ刷り完成・チェック 27萩原直大　24奥田陽一
10.08.09　会誌発送用封筒準備・会誌１３号完成発送開始
10.10.17　総会前準備会議ホテル打合せ　お茶の水ホテルガーデンパレス
14 柿崎　24 奥田　27 萩原　32 古川　35 石井　39 増田
10.10.23　２０１０年度　総会・懇親会　（詳細　会誌１４号）
10.11.26　会計中間決算作成・チェック　21 平田坦　27 宮林芳子
24奥田陽一
11.01.07　「南国酒家」下見、条件等打合せ　16清水　24奥田
11.01.15　世話人会．今年の総会・懇親会の開催場所について他
14 柿崎　18 寺澤、小木曽　21 平田　23 佐怒賀　24 河井、
奥田　27 萩原、宮林　32 古川　39 増田　以上１１名
11.02.15　会誌１１号～１３号を国立国会図書館に納本
11.02.16　まちづくり作法集Ⅱ「千里山の暮らしと住まい」50部　購入
11.03.26　千三小卒業生の入会勧誘打合せ　新宿歌舞伎町　車屋
14柿崎眞吾、43（千三1）清水恒治、44（千三2）伊藤千恵
24奥田陽一
11.04.11　会計10年度決算書類作成・チェック　21 平田坦　27 宮林芳子
24奥田陽一
11.05.31　会計監査　21平田　坦　24奥田陽一
11.06.01　会誌１４号編集打合せ　27萩原直大　24奥田陽一
11.06.13　垂水神社隣接地のマンション計画に、千里山会として反対要望
書提出を求められたが、現時点で会の総意をまとめる事は困難
なので見合わせる旨書面回答
11.07.07　会誌１４号編集打合せ　27萩原直大　24奥田陽一
11.07.15　会誌１４号編集完了印刷会社に依頼　27萩原直大　24奥田陽一